



寒い岐阜の冬を終えて、待ち遠しい春がやってきました。今回は SDGs（持続可能な開発目標）特集の第3弾として、環境問題とクルマの技術にクローズアップしてお届けします。

スズキとSDGs

13 気候変動に具体的な対策を



産業の発展

温室効果ガスの排出量増加

気候変動

災害の発生

家や家族を失う

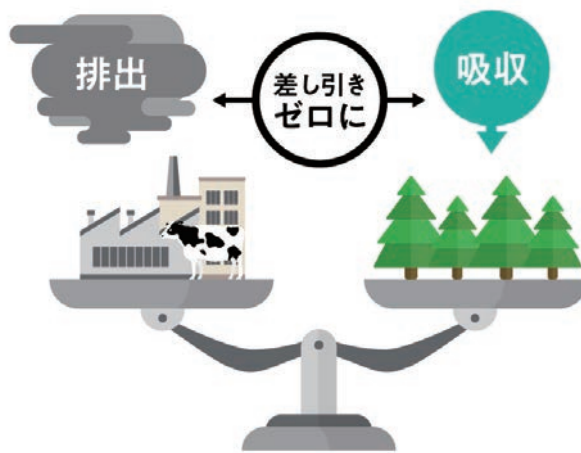
SDGs の 17 目標は環境、社会、経済の 3 つの階層に分類され、環境はすべての土台になっています。環境が整備された上に社会は成り立ち、社会が成り立って、経済活動ができるというものです。SDGs の達成には、環境問題への取組みが必須です。



ヨハン・ロックストローム博士による SDGs「ウエンディングケーキモデル」

2050年までの日本の目標 カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出を完全にゼロにすることは困難です。一方で、温室効果ガスの排出量をできる限り抑えて、排出量と同量を森林が吸収することができれば、実質的な排出量はゼロにすることができます。カーボンニュートラルとは、このように、これらを差し引きしてゼロにする考え方のことです。



マイルドハイブリッド



「マイルドハイブリッド」とは、減速時のエネルギーを利用して発電し、加速時には、その電力を活かしてエンジンをアシストすることで排ガスの削減を実現するハイブリッドシステムです。マイルドハイブリッド車は、日本が普及促進する電動車の一種で、現在、スズキは 18 車種に採用しています。クルマの排ガスも環境に大きな影響を及ぼすため、スズキではマイルドハイブリッドでカーボンニュートラルに挑戦しています。低燃費で、走りもスムーズ、環境にも配慮して、家計にもやさしいマイルドハイブリッドを選ぶことも SDGs の一つですね。

